

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23315
事業名	ごみ収集計画費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 業務課				
	課長名	平賀 勉	担当者名	南 亮輔	電話番号	011-211-2916
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	ごみの減量・リサイクルの推進には、ごみを排出する市民の協力が必要不可欠であるため、市民に対しごみの分け方・出し方等の周知を図っていく。			
		長期	ごみの分別や減量の推進を図り、環境低負荷型資源循環社会の構築を推進する。			
	取組内容	家庭系ごみの分別・排出ルール等の普及啓発を行うため「ごみ収集日カレンダー」の作成、「ごみ分けガイド」の作成や出前講座「さっぽろクリーンミーティング」などを実施している。				
	実施結果	ごみ収集日カレンダーの作成や出前講座「さっぽろクリーンミーティング」(開催回数85回、参加者数5,556人)を実施した。				
事業実施における工夫点	家庭系ごみの収集・処理は、ごみを排出する市民の協力が必須であるため、市民に対しごみの分け方・出し方等を周知し協力を求める必要がある。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例					
他都市の状況	政令市をはじめ、多くの自治体で、札幌市と同様にごみ分けガイドや収集曜日カレンダーを作成しごみの排出ルールに関する普及啓発を行っている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	42,151	57,474	48,394	65,511	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	4.8	4.0	4.0	4.8	
人件費	34,560	28,800	28,800	34,560	
計(事業費+人件費)	76,711	86,274	77,194	100,071	
事業費の内訳	令和3年度決算	・職員手当等:9,392千円 ・需用費(家庭ごみ収集日カレンダー作成経費等):13,224千円 ・委託料(家庭ごみ収集日カレンダー配布委託料等):23,057千円 ・その他:2,721千円			
	令和4年度予算	・職員手当等:8,334千円 ・需用費(家庭ごみ収集日カレンダー作成経費等):15,001千円 ・委託料(家庭ごみ収集日カレンダー配布委託料等):38,343千円 ・その他:3,833千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	清掃に関する問い合わせ件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	69503	66000	67404	69493	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名	不適正排出開封調査実施ステーション数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	6231	19287	4591	6316	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	ごみの適正排出及び減量・リサイクルの推進を図るため、ごみ分けガイド、ごみ収集日カレンダー、クリーンミーティング、ごみ分別アプリなど様々な媒体や施策を通じて、普及啓発を行っている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	家庭系ごみの分別・排出ルール等の普及啓発を行うためには妥当と考える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業費の半分を占める「ごみ収集日カレンダー配布」は、ポスティング業者に委託しており、受託業者による未配布や、適正なポスティングが行われていない地域の発生を防ぐため、作業管理、人員管理の向上を目的として、平成27年度からは配布エリアを3分割し、概ね良好に業務が履行されている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	家庭ごみの不適正排出開封調査実施ステーション数が減少しており、ごみを排出する市民の協力によるものと捉えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	市民がごみの分け方・出し方等について、市民がわかりやすいように、ホームページやその他の広報媒体でより効果的な市民周知を図る。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	ごみを排出する市民の協力が必須であるため、市民に対しごみの分け方・出し方等を周知し協力を求める必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き、市民に分かりやすいごみの分け方・出し方等の周知方法の検討を行い、現在の事業内容を継続する。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 経費節約に努めながら、引き続き家庭系ごみの分別・排出ルール等の普及啓発を行っていく。		見直し効果額	0 千円